



平成25年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社エーアンドエーマテリアル
代表者名 代表取締役社長 中村 勇 二
コード番号 5391 (東証1部)
問合せ先 経 理 部 長 白井 直 人
電話番号 045 - 503 - 5760

第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 18,000 | 350 | 150 | 50 | 0.64 |
| 実 績 (B) | 16,552 | 500 | 388 | 112 | 1.44 |
| 増 減 額 (B - A) | △ 1,448 | 150 | 238 | 62 | - |
| 増 減 率 (%) | △ 8.0 | 42.9 | 158.6 | 124.0 | - |
| (ご参考) 前年同四半期実績 (平成25年3月期第2四半期) | 16,828 | 24 | △ 184 | △ 306 | △ 3.95 |

2. 差異の理由

建設・建材事業においては、けい酸カルシウム板などの販売数量が増加しましたが、工業製品・エンジニアリング事業における鉄鋼、諸産業向け材料の販売減少、大型物件の先送りによる工事の減少により、売上高は予想を下回りました。

利益面では、営業利益は製造コスト低減および工事原価管理強化による利益率改善、経常利益は持分法投資損益と為替差損益の改善によるものです。また、四半期純利益は本日発表のとおり特別損失として減損損失を計上したものの、予想を上回ることとなりました。

なお、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、変更ありません。

(注)上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上